

公開シンポジウム

どこまでわかる「食の考古学」 その理論と実践

基盤研究 (C) 擦文からアイヌへ食生活形成の考古学的研究

2017年3月2日(木)・3日(金)
東北大学川内キャンパス
マルチメディア教育研究棟 6階

3月2日

13:00 開会

13:05 ~ 13:55 細谷葵 (お茶の水女子大学)

たかが食、されど食

- 料理と食品加工の復元からここまでわかる過去の社会

14:00 ~ 14:50 溝口孝司 (九州大学大学院)

「食べる」という行為にかかわる考古学的アプローチ

15:00 ~ 15:50 深澤百合子 (東北大学大学院)

技術体系としての農耕

- アイヌ文化にみる栽培から調理・食事まで

3月3日

10:00 ~ 10:50 宮尾亨 (新潟県立歴史博物館)

土器の付着物から読み解く縄文人の食生活

11:00 ~ 11:50 庄田慎矢 (奈良文化財研究所)

ヨーク大学におけるバイオアーキオロジー (Biomolecular Archaeology)

13:00 ~ 13:50 山田悟郎 (元北海道開拓記念館)

植物遺体が物語る食生活

14:00 ~ 14:50 中村大 (立命館大学 R-GIRO)

データベースとGISからみえてくる食文化史

15:00 ~ 16:00 質疑応答・ディスカッション

16:00 閉会

- 会場へのアクセス

仙台市営地下鉄東西線川内駅下車、
出口より徒歩1分

- 問い合わせ先

東北大学大学院国際文化研究科
深澤研究室 TEL:022-795-7617

